

いろいろな仕事を経てたどりついた介護の仕事 趣味と仕事のバランスを乗りこなす介護士

ワーク・ライフ・バランス

吉田和明さん / 41歳

医療法人浜江堂 介護老人保健施設 からぎステーション
介護福祉士

キャリア

21歳頃	大手企業の子会社でトラックの配送、事務などを担当
24歳頃	ヘルパー2級を取得し、看護助手として勤務する
25歳頃	自動車メーカーで派遣職員として働く
30歳頃	介護の仕事をはじめ
35歳頃	介護福祉士取得

ある日の1日



POINT

- 不況のあおりを受けて介護職に転身
- モノづくりから人と接する仕事へ
- 趣味の時間も取れて、ライフスタイルに合った働き方ができる

！ 福祉の仕事をする前は何をしていた？

— トラック配送、自動車部品組立など
様々な職業を経験

父親が左官をしていたこともあり、大学では建築の勉強をしていました。でも「少し違うかな」と感じ、中退しました。21歳頃から、大手企業の子会社で、トラック配送とか事務職をやっていました。かなりハードな職場で、「このまま働いてもな・・・」と感じていたとき、たまたま同じ職場の人が、「ヘルパーをやる」と言って退職したんです。その姿を見て、介護の資格を取ってみようかな、と思いました。24歳頃にヘルパー2級の資格を取って、看護助手の仕事を始めましたが、給料が安く生活が厳しいと思ったので、派遣社員として自動車メーカーで自動車部品の組み立ての仕事をしていました。

— きっかけは、友達の紹介

自動車メーカーで派遣社員として働いていた時、リーマンショックのあおりを受けて仕事がなくなってしまいました。その時期は本当に仕事が見つからず困っていたんですが、有料老人ホームで働いていた友達が、介護の仕事を紹介してくれたんです。一度、病院で看護助手として働いたときに辞めた経験がありましたが、その時は「とにかく何かしないと」という一心だったので、友達と同じところで働き始めました。その後、別の有料老人ホームにも転職しましたが、有料老人ホーム以外でも働いてみたいと思ったので、今の職場に転職しました。いろいろな仕事をしてきましたが、介護の仕事は続いているので、向いているのかな、と思います。

！ 福祉の仕事をする前と後で、イメージは変わった？

— ライフスタイルに合っている仕事

介護の仕事って、あまり良いイメージがないかもしれませんが、実際働いてみると、「そうでもないな」という感じですね。最初は「本当にできるかな？」と不安でしたが、実際やってみたら大丈夫でした。他の仕事にも、きついことはあると思いますしね。

これまでの仕事と比べると、定時で上がれるのは大きな違いです。休みもちゃんとあるし、肉体労働もそこまで苦にならないですね。趣味の時間も取れて、自分のライフスタイルに合っている仕事じゃないかな、と思います。

前の仕事は、人と話すこともないし、ひたすらモノを作る仕事でしたけど、介護は人と接する仕事です。私はもともと自分から話すタイプではなくて、聞き手に回る人が多いんですが、そのおかげで利用者さんの話を受け止められているのかな、と思います。なるべく穏やかに過ごしてもらえるように、自分の感情もコントロールしようと意識しています。



！ 仕事以外はどんな生活をしている？



— 趣味はロードバイク

ロードバイクにハマっていて、休みの日は一人で乗りまわしています。ハマりだしたのは、2年くらい前ですかね。きっかけは、前の職場にいたときに、副業で配達をやっていたんですが、それで自転車に乗り始めたことです。もともと、運動とかあまりやってなかったのが、運動不足を解消しなきゃと思って、自転車に乗り始めました。

副業は辞めたんですが、ロードバイクは今も続いています。佐世保まで走りに行ったこともあります。片道6時間、120キロくらいですかね。休みの日は走りに行くことが多いです。おかげで体力もつきましたし、結婚後に増えた体重も、もとに戻りました。

ロードバイクは凝りだしたらきりがありませんね。タイヤやホイールとか、パーツをいいものに交換しだすと、止まらなくなりますね。お金もかかりますけど、楽しみでもあります。

取材を
終えて

「いろんなことを経験してみたいタイプですかね」と話されていた吉田さん。ひとつひとつの経験が自分の可能性を広げるのだな、と改めて実感しました。